



まつざきタイムズ

発行 まつざき誠 後援会
 中津川市苗木 2110
 TEL 0573-66-6926
 FAX 0573-65-6924
 (デンソーテン労働組合内)

こんにちは。6月定例会は、「副市長の2人体制」、「幼・保・こども園の給食費無償化」など、小栗市長の考えや公約が議案として提案され可決されました。一般質問は10人が登壇し、私は「人口減少と労働者の確保」について、これまでの取り組みや今後の計画を確認しました。

一般質問 ～人口減少と労働者の確保について～



当市は工業振興が盛んで、令和5年の統計書によると令和3年の製造品出荷額は県内5位、市民の就業者は12,381人(32.3%)です。一方で市内の各企業は人材確保に苦勞しており、特に新卒の採用が何年も希望に達していないとの声を多く伺います。この様な状態では計画的な人材育成ができず、将来の事業継続などに大変危機感を持っているのが現状です。少子化により今後も採用の減少が予想される中で、労働者の確保に向けたこれまでの取り組みと今後の計画を伺います。

表1 中津川・恵那市の公立高校選抜結果(令和4・5年度)

学校名	学科	定員	令和4年度		令和5年度	
			合格者数	欠員	合格者数	欠員
中津	普通	200	187	13	162	38
坂下	地域探究	40	38	2	39	1
	福祉	20	5	15	5	15
中津商業	ビジネス	105	102	3	87	18
	ビジネス情報	35	30	5	26	9
中津川工業	機械工学科群	80	67	13	67	13
	電気工学科群	40	20	20	34	6
	建設工学科群	40	37	3	29	11
中津(定時制)	普通	40	7	33	6	34
阿木(定時制)	生産科学	40	15	25	17	23
	総合生活	40	8	32	8	32
恵那	普通	120	120	0	120	0
	理数	80	80	0	80	0
恵那南	総合	60	41	19	49	11
恵那農業	食の農学科群	70	60	10	70	0
	花と緑の農学科群	70	66	4	64	6
合計		1080	883	197	863	217

表2 中津川市内中学生の進路(令和5年度卒)

地区	学校名	学科	定員	令和5年度全体		中津川市 希望者数(1月)	
				合格者数	欠員		
中津川市	中津	普通	200	162	38	105	
		地域探究	40	39	1	39	
	坂下	福祉	20	5	15	3	
		ビジネス	105	87	18	62	
	中津商業	ビジネス情報	35	26	9	18	
		機械工学科群	80	67	13	42	
		電気工学科群	40	34	6	23	
	中津川工業	建設工学科群	40	29	11	19	
		普通	40	6	34	3	
	中津(定時制)	生産科学	40	17	23	9	
	阿木(定時制)	総合生活	40	8	32	2	
普通		120	120	0	33		
恵那市	恵那	理数	80	80	0	51	
		総合	60	49	11	5	
	恵那南	食の農学科群	70	70	0	43	
		花と緑の農学科群	70	64	6	29	
合計		1080	863	217	486		
東濃西部の公立(瑞浪・時・多治見)						28	
東濃以外の県内公立						15	
県内私立						67	
通信制・県外・特支						74	
						小計	184
						合計	670

(1) 中学生の進路について

中津川市と恵那市の高校では定員に満たない学科が散見され、令和4年度以降中津川市内では全ての高校や学科で定員割れとなっています。(表1)

松崎：市内中学校の進学者の志望校と学科の人数を伺います。

答弁：R6年1月に実施した調査結果は次の通りです。(表2)

松崎：中学生が志望校を決める過程で決め手となる事柄は何なのか。

また、従来から変わってきた事があれば教えてください。

答弁：大きな要因、決め手となるものは学力です。

他に各高校の教育内容や方法、卒業後の進路実績、希望する部活動の有無や実績が重視されています。



(2) 高校生の進路について

中津川市と恵那市の各高校の進路をHPで調査したところ、実業校においても21～59%が大学や専門学校など、進学を選ぶ割合が高い傾向にあります。(表3)

松崎：後期事業実施計画の指標である「高校生の市内就職率」の令和5年度の実績はいくつでしたか。

答弁：市内5つの高校で就職した196人の内、83人が市内に就職しており、42.3%になります。

松崎：今年度の若者の地元定着推進事業に「中津高校Uターンセミナーの開催」があります。実体験を後輩に伝える良い取り組みと思いますが、今後他の学校に広げる考えはありますか。

答弁：Uターンセミナーは、一度進学等で市外へ転出する生徒が多い学校を対象に、Uターンで戻った方を講師に実施しています。近年は実業高校においても進学率が上昇しており、今後高校と調整を図り進めてまいります。

松崎：昨年度、市内の高校2年生を対象にしたアンケートで「地元での就職意向は「思わない」が約70%と、5年前より3%高くなっています。要因の分析結果を伺います。

答弁：5年前より市内高校の進学率が7.3%上昇。実業高校の進学率も19%増加し、地元に残る傾向が低くなっている。要因は、新しい場所や都会に行きたいとの考えがあるようです。

松崎：文部科学省の統計では少子化が進む中で、大学への進学は増加しており、今後、高校生の地元就職者が更に減少することが想定されます。新たな取り組みと計画などを伺います。

答弁：高校生が市内企業を知る取り組みを強化する必要があり、生徒が希望する事業所を個別に見学し、きめ細かに企業を知る制度を検討したい。更に、就職を希望する高校生と企業をマッチングする機会の充実や企業見学、Uターンセミナーなど、従来からの取り組みも強化・継続します。

表3 中津川・恵那市の公立高校の進路

高校名	進学				就職					合計		
	4年制大学	短期大学	専門学校	小計	中津川	恵那	県内	県外	小計			
中津(R5)					1				1	1		
坂下(R5)	2	2	9	13	46%	13	0	2	0	15	54%	28
中津商業(R5)	34	2	42	78	59%	28	8	2	17	55	41%	133
中津川工業(R4)	17	0	16	33	24%	40	19	16	32	107	76%	140
阿木(R5)	0	0	5	5	21%	6	7	5	1	19	79%	24
恵那(R5)				0		2				2	2	
恵那南(R5)	7	4	2	13	34%	7	12	1	5	25	66%	38
恵那農業(R4)	10	5	44	59	44%	33	23	7	12	75	56%	134
合計	70	13	118	201		127	66	30	64	287		488

(3) 事業所と行政の関わりについて

工業振興の計画に「地元企業の活力向上を図るため、企業訪問により情報収集を行い、事業規模拡大や安定した事業継続に向けた取組みを支援します。」とあります。

松崎：3月の予算決算委員会で、昨年は138件の訪問を行ったとお聞きしましたが、どのような内容であったのかを伺います。

答弁：労働者の確保という課題に関しては、募集しても十分に応募者が集まらず、採用に結び付かないという声や、業況に関する聴き取り、支援制度、企業誘致に関する質問等多岐に渡ります。

松崎：多くの事業所では地元で不足する人材を、派遣員や外国人で補っており、市内での住居確保や送迎等で苦労しているとお聞きするが、そのような課題にどのような対応をされているかを伺います。

答弁：外国人労働者の生活に関する問題や住居の確保が困難という話を伺っており、関係各課との連により、管理団体による生活習慣の研修や市が作成した資料の配布などを行っています。

松崎：高校生の進路であるように、若者の都会への憧れが強く、通勤時間より趣味や休日の余暇を優先した場所に住む傾向があるようです。リニア新幹線開通後にも想定される、都市部に人口が流出してしまう「ストロー現象」とならないために、商業施設の誘致などの施策はお考えでしょうか。

答弁：大型商業施設の誘致については考えていません。リニア駅周辺は交通の結節点としての魅力を、中心市街地においては違った視点で魅力あるまちづくりを進め、人口の流出を防ぎたいと考えております。



<まつざきの考え>

少子化が進む中で、進学や就職を機に転出する若者の割合は年々高くなる傾向にあり、更に中学生が進学先を決める段階で中津川・恵那市以外の選択が約27.5%もあることや、実業高校の進学が増加するなど、地元離れが深刻な状況であると認識せざるを得ない状況です。行政もこれまでに小中学校での職に対する学習の機会を設けるなど、様々な取り組みを行っていますが、転出の歯止めが掛かっておらず、人口動態で見ればUターンや移住も多くは期待できません。企業は労働者が確保できなければ、事業の縮小や撤退の判断をする可能性もあります。そのような事にならないためには、何が原因なのか？どうしたら良いのか？を、幅広い年代の市民や企業も巻き込み、本音で語り合ったうえで、事業の見直しを考え直す時期が来ていると考えます。

6月定例会の主な議案

《条例》

1. 中津川市職員定数条例の一部改正

災害に対応する能力の向上や、働きやすい職場環境の実現と健康増進を図るには、喫緊の課題に対応する必要がある。不足する人員を確保するため消防機関の職員の定数を増やす。

・現行：119人→改正：127人

2. 中津川市キャンプ場等の設置等に関する条例の一部改正

昨今の人件費や物価の高騰により施設運営に影響が出ており、施設使用料を改正する。

・対象施設：桜の湖自然公園、夕森キャンプ場

3. 中津川市副市長定数条例の一部改正

市が抱える多くの事業や課題に対し、迅速かつ丁寧に対応するために、市の組織体制を整備、強化することを目的として副市長の定数を改正する。

・改正前：1人→改正後：2人以内

《その他》

◆ 財産の取得

- ・大型水槽付消防ポンプ自動車1台（北消防署）
・・・・・・・・・・7,029万円
- ・消防ポンプ自動車2台（坂本分団第1部、坂下分団第2部）
・・・・・・・・・・4,397万円
- ・教師用校務系パソコン（小学校200台、中学校150台）
・・・・・・・・・・9,350万円
- ・坂本学校給食共同調理場 厨房機器 一式
・・1億6,720万円



◆ 工事請負契約の締結

- ・（仮称）会議棟建設工事（建築主体工事）
・・・・・・・・・・2億7,500万円
- ・東濃5市消防指令センター高機能消防指令システム設置工事
・・・・・・・・・・2億5,047万円
- ・坂本学校給食共同調理場建設工事（建築主体、機械設備、電気設備）
・・計10億114万円

《議員提出議案》

ガザ地区における早期停戦と人道状況の改善を求める決議について

- ・市民グループ中津川アクションから、世界の恒久平和を願う要望書が署名付きで提出されたことを受け、中津川市議会は、世界平和を希求する全ての市民と共に、一刻も早い紛争の終結に向け、関係する全ての当事者と国際社会に対し、最大の努力を求める決議を採択しました。



《補正予算・・初日提案》

補正の規模 一般会計 3億1,034万円

◆ 国・県補助金等を活用しての事業実施

- ・新型コロナワクチンの秋冬接種実施費用
・・・・・・・・・・1億3,063万円
- ・観光広域連携事業の増額（中津川、塩尻、木曾、下伊那広域連携）
・・・・・・・・・・2,250万円
- ・畜産振興対策事業の増額
・・・・1,636万円

◆ 緊急対応が必要な事業

- ・西部テクノパークの高盛土安定検討・地質調査等の委託
・・・・・・・・・・5,814万円
- ・退職消防団員へ退職報償金を支給（支給対象者126名）
・・・・4,882万円
- ・落合と神坂の小・中学校の統合に向けた改修工事実施設計委託
・・・・・・・・各1,100万円

◆ 寄附を財源とした備品購入等事業実施

- ・落合小学校の図書購入（上田信義様）10万円
- ・教育基金積立金への積み立て（篠原政幸様）
・・・・・・・・100万円



《補正予算・・6/13追加》

補正の規模 8,103万円

一般会計 6,778万円
企業会計（下水道事業） 1,324万円

◆ 「ひとづくり」「地域づくり」を推進する事業

- ・幼稚園・保育園・こども園の3歳以上児の給食費を無償化
・・・・・・・・・・1億3,063万円
- ・小・中学校の特別教室のエアコン設置にかかる設計の実施
・・・・・・・・・・2,250万円
- ・苗木城跡周辺散策道整備にかかる設計を実施
・・・・・・・・・・790万円

◆ 緊急対応が必要な事業

- ・浄化管理センターの脱水機を修繕【下水道事業会計】
・・・・・・・・1,324万円

《人事》

1. 中津川市副市長の選任につき同意を求める

氏名：可知 誠氏

（恵那市山岡町出身。元職：岐阜県職員）

《補正予算・・6/27追加》

補正の規模 一般会計 1,083万円

◆ 人件費の補正

- ・職員給与費
・・・・・・・・・・1,083万円
- 副市長の定数を「1人」から「2人以内」に変更することに伴う必要額の補正

活動トピックス



リア新幹線期成同盟総会(7/10)



交通安全街頭指導(7/11)



東濃歌舞伎保存会鑑賞(7/14)

消防操法大会の結果と今後の予定

6/30(日)に開催された中津川市消防操法大会の結果をお知らせします。

- 優勝：福岡分団第4部
- 準優勝：坂本分団第1部
- 3位：中津分団第1部



優勝チームは10/27(日)に開催される県大会に出場します。



大会終了後から「県大会は8月じゃないの?」、「練習は10月までずっとやるの?長くなって大変だね!」などのお声がチラホラありました。事情を説明しますと、近年の団員の負担低減の一環として、訓練の暑さへの配慮と、観覧をされる方の負担を減らすために、今年は秋に開催にされることになりました。



当日は広報担当として、雨の中、簡易防水のビデオとカメラで撮影。



競技終了後に同僚議員が「お疲れ様」と撮影してくれました。

操法大会の詳細は中津川市消防団 HP をご覧ください。



中津川市消防団



7月の行事

- 1(月) 全トヨタ 議員団定例会
- 4(木) デンソーテン豊田物流センター 活動報告
- 5(金) 支援労組 市政報告会
- 7(日) 消防団 NHF<高校生ボランティア>入団式
元消防団副団長叙勲祝賀会
- 9(火) 議員連絡協議会
- 10(水) リア新幹線建設促進期成同盟会総会
- 11(木) 交通安全街頭指導 (19)
- 12(金) 自動車総連)議員研修会(東京)
- 16(火) 会派研修・行政視察(東京) (~17)
- 18(木) 総務企画委員会 所管事務調査
議会改革特別委員会
- 19(金) 苗木地区 区長会
- 20(土) 落合 津島神社祭典
- 23(火) ユニオンネットなかつがわ定期総会
- 24(水) 苗木財産区との議員懇談会
- 26(金) 連合岐阜)議員団会議・サマーセミナー
落合地区 区長会
- 27(土) テン)中津川製作所 従業員会総会
- 28(日) 落合ふるさとまつり
- 29(月) 中津8区 役員会

お知らせ

次の情報はホームページで検索すると閲覧できます。

1. まつざき誠 一般質問映像(27分)

中津川市議会



2. 6月定例会提出議案

議案



市政への意見・要望や地域の問題等、お気軽にご相談下さい。
携帯電話：090-7257-6588
Eメール：info@matsuzaki-makoto.jp

☆情報発信を随時行っています☆
公式ホームページ

<https://matsuzaki-makoto.jp/>



ホームページ



公式LINE



Facebook



Instagram